【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第４区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公開番号】特開2001-107170(P2001-107170A)
【公開日】平成13年4月17日(2001.4.17)
【出願番号】特願平11-279109
【国際特許分類】
Ｃ２２Ｃ　21/12　(2006.01)
Ｃ２２Ｃ　21/02　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/043　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/057　(2006.01)
Ｃ２２Ｆ　1/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ２２Ｃ　21/12
Ｃ２２Ｃ　21/02
Ｃ２２Ｆ　1/043
Ｃ２２Ｆ　1/057
Ｃ２２Ｆ　1/00　６１２
Ｃ２２Ｆ　1/00　６３０Ｊ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ａ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｂ
Ｃ２２Ｆ　1/00　６９１Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月22日(2006.8.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　Ｃｕ：５．１～６．０wt%、Ｓｉ：１．０～１０．０wt%およびＳｒ：０．００１～１．０wt%を含み、残部がＡｌおよび不純物からなることを特徴とする快削性アルミニウム合金。
【請求項２】　Ｃｕ：５．１～６．０wt%、Ｓｉ：１．０～１０．０wt%およびＳｒ：０．００１～１．０wt%を含み、さらにＭｇ：０．０５～１．０wt%、Ｍｎ：０．０５～１．０wt%のうちから少なくとも１種を含み、残部がＡｌおよび不純物からなることを特徴とする快削性アルミニウム合金。
【請求項３】　Ｓｉの単体粒子またはＳｉと他の添加元素との化合物粒子は、アスペクト比０．７～１．３である請求項１または２に記載の快削性アルミニウム合金。
【請求項４】　請求項１または２のいずれかの快削性アルミニウム合金からなるビレットを２００～５４５℃で１時間以上保持して均質化処理を行い、このビレットを押出温度：３００～５００℃、押出製品速度：５ｍ／ｍｉｎ以上で押出し、さらにリダクション５％以上で引抜いた後に、３００～５４５℃で１時間以上保持して溶体化処理し、さらに室温で１時間以上保持して自然時効処理を行い、さらに１００～２５０℃で１～３０時間保持して人工時効処理することを特徴とする快削性アルミニウム合金材の製造方法。